

2025（令和7）年12月25日

長野県知事 阿部 守一様

佐久新校創設推進協議会会長
佐久市長 柳田 清二

要 望 書

平素は、県政の充実と発展に多大なご尽力を賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、2023（令和5）年に発足した佐久新校創設推進協議会は、これまで3回にわたって、佐久新校の豊かな教育環境の実現を願い「要望書」および「提案書」を貴職あて提出してまいりました。

こうした中、昨年10月には念願の校地拡幅がかない、生徒の通学の安全性が確保されることとなりました。地元として深く感謝申し上げます。

ところで、佐久新校の施設整備基本計画につきましては、本年11月の第28回佐久新校再編実施計画懇話会において高校教育課高校再編推進室より説明があり、新校の立地する佐久市とも協働して、2029（令和11）年の開校に向け努力していくことが表明されました。

つきましては、佐久新校創設推進協議会はこうした長野県教育委員会のご尽力に呼応し、協力して未来を担う生徒にさらに良質な教育環境を準備するため、下記のとおり要望いたします。

記

1 生徒の通学の安全性をより確かなものにするため、以下の点について格段のご配意をいただきたい。

（1）佐久新校の校地東側の市道は、佐久市の全面的な支援により整備が計画され、自転車通学の危険軽減につながることが期待される。他方、拡幅校地および周辺の安全かつ機能的な利活用についてはいまだ明らかではなく、不安の声も大きい。西側市道の整備および国道141号線への信号機の設置も含め、今後の計画を示していただきたい。

（2）学校周辺の県道および国道については、特に自転車通学の生徒から危険性が指摘されている。関係各方面への働きかけを強く要望したい。

2 2026（令和8）年度から始まる第1期工事に際しては、以下の点について格段のご配意をいただきたい。

（1）生徒職員をはじめ学校関係者の安全確保を徹底していただきたい。

（2）除却する施設の移動に際しては、学校の貴重な所蔵物品が散逸しないよう十分に配慮していただきたい。

（3）体育施設については、授業への影響を最小にするよう関係各方面と協議するとともに、大体育館の機能向上に尽力していただきたい。

以上